

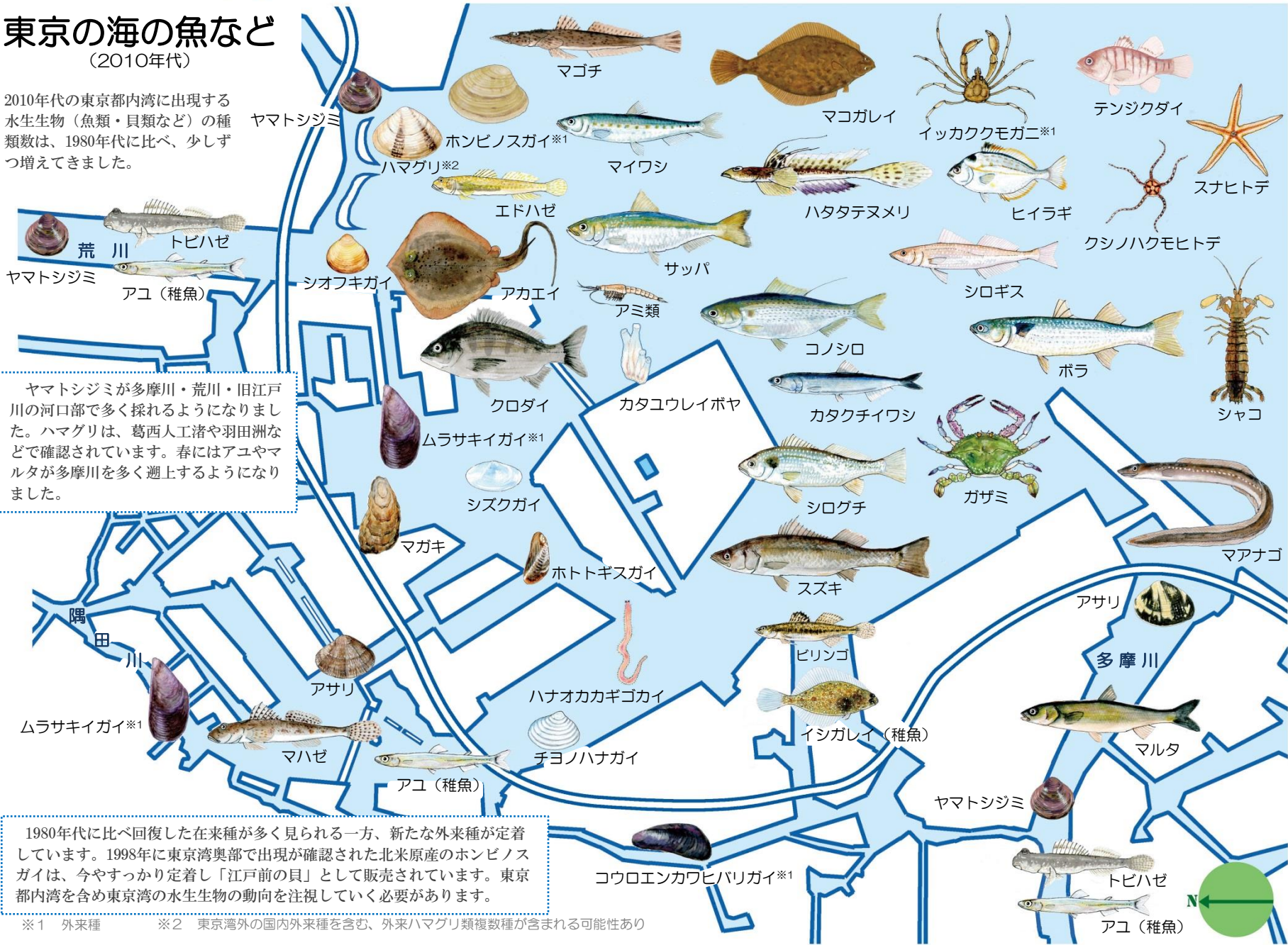
# 東京の海の魚など

(2010年代)

2010年代の東京都内湾に出現する水生生物（魚類・貝類など）の種類数は、1980年代に比べ、少しずつ増えてきました。

ヤマトシジミが多摩川・荒川・旧江戸川の河口部で多く採れるようになりました。ハマグリは、葛西人工渚や羽田洲などで確認されています。春にはアユやマルタが多摩川を多く遡上するようになりました。

1980年代に比べ回復した在来種が多く見られる一方、新たな外来種が定着しています。1998年に東京湾奥部で出現が確認された北米原産のホンピノスガイは、今やすっかり定着し「江戸前の貝」として販売されています。東京都内湾を含め東京湾の水生生物の動向を注視していく必要があります。



※1 外来種 ※2 東京湾外の国内外来種を含む、外来ハマグリ類複数種が含まれる可能性あり

マゴチ



ヤマトシジミ



ホンピノスガイ※1



マコガレイ

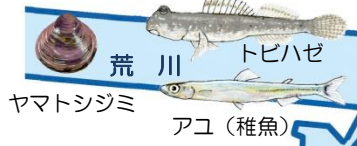


イッカククモガニ※1

テンジクダイ



スナヒトデ



ヤマトシジミ

トビハゼ

アユ (稚魚)



シオフキガイ



エドハゼ



サッパ



アミ類



ハタタテヌメリ

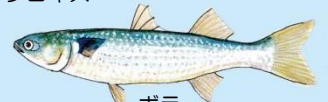


ヒイラギ

クシノハクモヒトデ



シロギス



ボラ



シャコ



クロダイ

カタユレイボヤ



コノシロ



カタクチワシ



マアナゴ



ムラサキガイ※1



シスクガイ



シログチ



ガザミ



アサリ



マガキ



ホトトギスガイ



スズキ



ピリング



アサリ

多摩川



ムラサキガイ※1



アサリ

ハナオカカギゴカイ



チヨノハナガイ



イシガレイ (稚魚)



マルタ

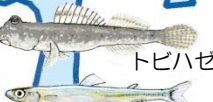


マハゼ



アユ (稚魚)

ヤマトシジミ



トビハゼ

アユ (稚魚)

コウロエンカワヒバリガイ※1

